

VMware Horizon DaaSで仮想デスクトップサービスを刷新 サービス提供価格を半減すると同時に サービスインまでの期間を最短5営業日まで短縮

課題(サービスの標準化)

- ・市場競争力強化に向けたサービス提供価格の低減
- ・サービスインまでの期間短縮
- ・お客様の要望に応える機能強化の実現

ソリューション

アウトソーシングビジネスで提供しているプライベートクラウド型仮想デスクトップサービスを、VMware Horizon DaaSで刷新してサービスを標準化。マルチテナント化でハードウェアの集約を実現するとともに、オープンソースソフトウェアの採用によりライセンスコストを削減。その結果、従来の約50%の価格でサービス提供が可能となり、サービスインまでの期間も従来の1/6、最短で5営業日へと大幅に短縮

導入効果(サービスの標準化)

- ・従来の約50%でサービス提供
- ・最短で5営業日でのサービスインを実現
- ・オプションサービスの追加によるお客様利便性の向上

導入環境

- ・VMware Horizon DaaS

ソリューションプロバイダー大手の富士通株式会社において、ICTサービスの提供を通じてお客様のビジネスの成長を支えるサービスマネジメント本部。最新のテクノロジーを活用したエンドユーザー環境の進化に取り組む同本部は、既存のサービスを刷新し、VMware Horizon DaaSを用いた新たな仮想デスクトップサービス「V-DaaS」の提供を2014年9月から開始しました。これにより、最短5営業日でのサービス提供を実現するとともに、監視・運用管理サーバのマルチテナント化やライセンスコストの削減により、サービスの提供価格は従来に比べて半減されました。サービス開始から半年が経過した現在、すでに約2,000 IDをお客様に向けて提供しており、2015年度は15,000 IDへの増加を見込んでいます。

価格競争力の向上に向けて DaaS環境を刷新

テクノロジー、ユビキタス、デバイスの3つの事業セグメントでトータルICTソリューションビジネスを展開する富士通。サービスマネジメント本部では、富士通の所有するリソースをビジネス価値に転換するアウトソーシングビジネスを通じて、お客様の事業の成長を支援しています。

この中で、シンクライアント環境をクラウド型で提供する仮想デスクトップサービス(DaaS)も、ICT資産の「保有」から「利用」への移行を支える重要なサービスの1つとして位置づけられていました。しかし、それまでのDaaSは仮想化ソフトウェアのライセンスやハードウェアを同社が調達し、お客様単位で環境を構築して提供するものでした。サービスマネジメント本部 DaaSビジネス部部長の高野徳己氏は、次のように振り返ります。

「DaaSとはいっても、お客様にご利用いただく環境は富士通のデータセンター内に構築することになりますので、お客様自らがお客様の拠点で構築するのと比較して、提供価格がどうしても割高になります。またお客様のご要望に合わせて都度カスタマイズが必要となるなど、サービスインまでの期間も最短で30日、新規でネットワーク回線を引く場合は約3カ月かかります。価格面も含めて他社とのサービス競争に勝ち、市場での優位なポジションを獲得するためには、従来のDaaSの提供環境を抜本的に見直す必要がありました」

VMware Horizon DaaSの採用で コストを従来の50%に削減

市場のニーズに適した新たなDaaSの具体的な検討を開始した富士通は、VMware

Horizon DaaSに着目し、導入を決断します。採用の決め手となったのは、コスト面での大幅な削減が見込めることでした。高野氏は「オープンソースソフトウェア(OSS)をベースとしたテクノロジーを採用しているHorizon DaaSなら、当社が負担しているライセンス費用を、大幅に削減できます。またマルチテナント構成で管理系サーバの集約ができるので、ハードウェアのコストも軽減されます。さらにHorizon DaaSの管理ポータルをお客様自身にご利用いただくことで、お客様の運用の利便性を向上することができます。これらを合わせると、約50%の標準価格でサービス提供が見込めることから、他社優位性が高まることを期待して採用を決めました」と語ります。

導入プロジェクトは2014年2月からスタートし、品質保証部門での検証を4カ月、さらに社内でのサービス事業部門での検証を4カ月かけて実施。それらを経たのち、2014年9月から新たな仮想デスクトップサービス「V-DaaS」として提供を開始しました。

「品質保証部門での検証で約1,000項目にわたるテストを実施した結果、110件の課題が検出され、その1つひとつを丁寧にクリアにしていきました。仮想デスクトップのパフォーマンスについても検証を繰り返しながら、設定した



富士通株式会社
サービスマネジメント本部
DaaSビジネス部
部長
高野 徳己 氏

「VMware Horizon DaaSの採用で、オープンソースソフトウェアの利用によるライセンス費用の削減、マルチテナント化による管理サーバの台数削減、管理ポータル提供による管理負荷の軽減を実現し、お客様への提供価格を半減したことでサービス競争力が飛躍的に向上しました」

富士通株式会社
高野徳己氏

カスタマープロフィール

1935年(昭和10年)に通信機器メーカーとして設立。現在はICT分野において各種サービスを提供するとともに、これらを支える最先端、高性能かつ高品質のプロダクトおよび電子デバイスの開発、製造、販売から保守運用までを総合的に提供するトータルソリューションビジネスを行っている。富士通グループの理念・指針である「FUJITSU Way」に基づき、フィールド・イノベーションによる自らの革新とお客様への価値提供の追求、すべての事業領域における地球環境保護ソリューションの提供、グループ各社の相互連携によるグローバルな事業展開の加速を事業方針の柱として、すべての事業を展開し、お客様とともに成長することを目指している。

条件をクリアするまでチューニングを行いました」(高野氏)

低価格で高品質なサービスが実現
最短5営業日の早期サービスインも可能に

Horizon DaaSの採用により、それまでお客様単位で構築していたDaaS環境はすべて標準化され、サービス内容も定型化されました。お客様はサービスメニューから必要な機能を追加できるようになったことに加え、従来の仮想デスクトップサービスと比較して大幅なコスト削減が実現し、低価格で高品質なサービスが提供できるようになりました。

「コストが下がった結果、サービスの提供価格も従来の約50%まで圧縮することができました。契約IDの数によって価格帯は異なりますが、どんなID数でのご利用でも、これまでの仮想デスクトップソリューション以上のコストメリットが得られます」(高野氏)

サービスが提供されるまでの期間も、お客様と富士通データセンター間のネットワークが開通済みの場合であれば最短で5営業日となり、従来の30日から大幅な短縮が実現。新たに回線を引く場合でも1カ月から2カ月程度と、より短期間で提供が可能になりました。この点について、高野氏は「お客様からは、通常1年から2年かかるオンプレミスへのVDI(Virtual Desktop Infrastructure、仮想デスクトップ基盤)の導入と比べて、1カ月、2カ月で利用が開始できるDaaSの導入スピードが高く評価されています」と手応えを語ります。

さらに、お客様に管理ポータルを渡すことで、運用管理の70%を占めていた定型運用業務が約半分となりました。それによって生まれた工数は現在、運用改善や運用の高度化など、サービス品質を高めるための業務に割り振ら

れています。

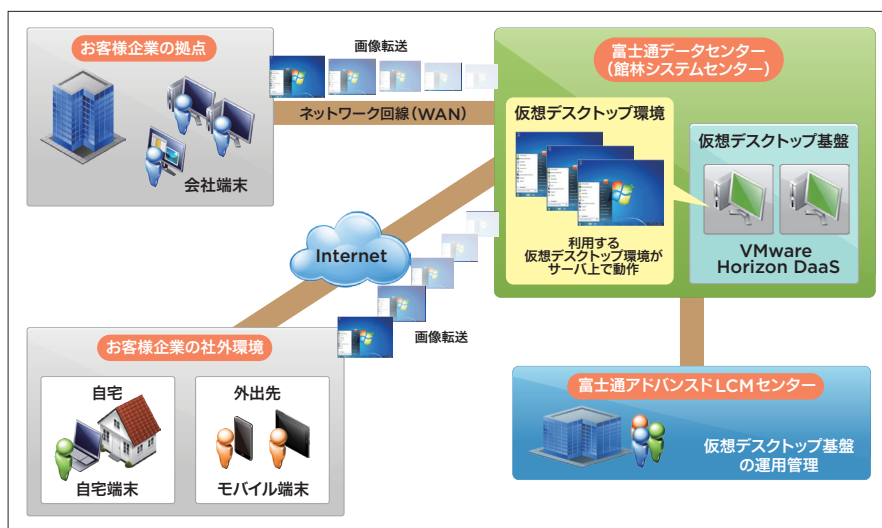
「サービス提供価格が安価になり、サービスレベルが向上した結果、お客様は順調に増えており、2014年9月のサービス開始から2015年3月までの約7カ月で、すでに約2,000 IDの契約を獲得しました」(高野氏)

VMware NSXを利用した
マイクロセグメンテーション化を推進

契約件数が順調に拡大する中、富士通では2015年度の1年間で15,000 IDの契約獲得を目標に掲げていて、この目標の達成もすでに道筋は明確だといいます。サービス面では、オプションサービスとして提供している機能強化、セキュリティ関連のメニューのさらなる充実を図りながら、お客様の細かなニーズに対応していく考えです。

「VMwareのソフトウェアとその最新技術を使って、セキュリティ機能の強化を検討中です。2015年4月に追加したvShield Endpointによるアンチウイルス対策の機能向上に加え、今後はVMware NSXを利用したマイクロセグメンテーション化を進めていきます。これにより、セキュリティのセグメントが仮想マシン単位まで分割されるようになり、ウイルス拡散防止の機能が強化されるでしょう」(高野氏)

最後に高野氏は「DaaSの提供においては、常に日進月歩で進化する技術に合わせた性能と機能の強化が不可欠です。今後もVMwareをはじめとするさまざまなパートナーの最新技術を活用しながら、パフォーマンスとクォリティの向上を追求していきます」と述べています。サービスでお客様のビジネスを支援するサービスマネジメント本部において、VMwareのソリューションの活用範囲には無限の拡がりが期待されています。



図：富士通のデータセンターに設置された仮想デスクトップ環境をネットワーク経由でお客様に提供

